

## 4 北部地域のまちづくり方針

### (1) 地域のあらし

#### 位置・面積

- ・北部地域は本市の東側で最北部に位置し、東は相模川、西は渋田川と玉川に囲まれます。かつては神田村に属し、昭和31年9月に平塚市に編入されました。
- ・地域の面積は664.7haで全市の約10%を占めます。うち神田地区は508.7ha、横内地区は156.0haです。
- ・神田地区は神田小と相模小学校区、横内地区は横内小学校区が含まれます。



#### 人口・土地の利用

- ・人口は全市の約10%を占めます。神田地区はやや減少傾向、横内地区は減少傾向にあります。(平成17年国勢調査)
- ・市街化区域は、地域の約48%を占め、農地の多い地域です。特に国道129号の西側と地域の北部に、まとまった農地が広がります。
- ・相模川の豊かな水辺や農地に囲まれ、四之宮・厚木線(旧厚木道)沿いに田村や大神の住宅地が連なっています。また、国道129号の西側の農地では施設園芸農業も盛んで、八幡・愛甲線沿いに横内の住宅地が広がりを見せています。
- ・国道129号や伊勢原藤沢線の沿道には、流通・自動車関連施設の立地が見られ、様々な用途の土地利用が進んでいます。

#### 地域の資源

- ・相模川河川敷に市民スポーツ広場があり、野球場が9面、サッカー場が3面あります。市民のためのスポーツやレクリエーションの場となっています。
- ・渋田川は、沿川自治会により桜の植栽と管理が行われています。
- ・大神地区と相模川対岸の寒川町倉見地区においてツインシティの整備が予定されており、本市の北の核が形成されます。



住宅地(田村)



市民スポーツ広場

## (2) 地域の主な課題

### 道路と交通の課題

- ・相模川東西の交通渋滞の解消や、生活道路への自動車の通過交通の流入抑制などによる歩行者や自転車利用者の安全性の確保が課題です。

### 住まい環境の課題

- ・公園など日常生活に必要な生活利便施設の不足への対応、工業団地やごみ処理施設などと周辺住宅地との調和など、良好な居住環境づくりが課題です。

### 地域の資源をいかすための課題

- ・渋田川の川沿いで行われている地域の自主的な植栽と管理については、継続と更なる発展が望まれます。
- ・ツインシティの整備効果を高めることが重要で、拠点性を高めると共に周辺まちづくりへの波及が課題です。



渋田川桜祭り



工場群（四之宮）

## (3) 地域のまちづくりの目標と将来像

### まちづくりの目標

誰もが安心して歩ける道や、みんなが集える地域生活の場の形成  
農地や川辺の保全と、富士山や大山の眺望確保  
ツインシティ整備を契機とした周辺まちづくりの推進

### 将来像

水辺や田園のある豊かな暮らしと、  
ツインシティが調和する活気あるまち

相模川と広い田園に囲まれた北部地域は、豊かな自然と力強い産業、そして快適な住宅のたたずまいが共生し、ツインシティの活気が地域全体に波及したいいきいきとしたまちをめざします。

## (4) 地域の分野別の方針

### (4) - 1 道路と交通

#### 道路一般

- ・伊勢原藤沢線の段階的な整備を進めます。
- ・ツインシティの整備にあわせて周辺交通環境の改善を進めると共に、相模川橋梁となる（仮称）倉見大神線の整備を進めます。また、市内の東西をつなぐ（仮称）平塚大神軸や（仮称）伊勢原平塚軸は、道路の位置など具体的な計画について検討します。
- ・安全で円滑な生活交通確保のため、補助幹線道路である四之宮・厚木線（旧厚木道）や八幡・愛甲線は、歩道設置など効果的な道路整備を進めます。

#### バス交通

- ・バス交通の円滑な走行のため、平塚駅と北部地域をつなぐバス路線について、バス交通の優先対策やバス停の環境整備などを進めます。また、西方面や伊勢原方面へのバス網の形成に努めます。

#### 歩行者空間、自転車利用環境

- ・歩行者や自転車利用者のため、安全に通行できる空間確保や交通安全施設などの環境整備を進めます。
- ・自転車利用環境の向上を進めるため、自転車走行空間の創出や自転車ネットワークの形成に努めます。また、バス停周辺において駐輪場の設置を検討します。
- ・渋田川や相模川などの川沿いの遊歩道は、改良や施設整備を進めます。また、歌川分流排水路は、上部利用によりコミュニティ道路の整備を進めます。

### (4) - 2 住まい環境

#### 住宅地

- ・住居系市街地のうち、四之宮・厚木線（旧厚木道）沿いに連なる神田地区は古くからの戸建てを中心とした低層住宅地として、みどり豊かな居住環境を形成します。また、八幡・愛甲線沿いに広がる横内地区は戸建てを中心とした低中層住宅地として、良好な居住環境を形成します。
- ・道路などが必要なところは、居住環境や防災性を高めるため、生活道路や下水道施設などの公共施設整備を進めます。

#### 近隣商業地または沿道市街地

- ・八幡・愛甲線沿道のうち横内団地付近は、地域生活に密着した店舗や事務所などの立地を誘導します。また、住民同士が交流できる空間の確保などについて検討します。

#### 工業地

- ・相模川沿いなどの工業系市街地は、工場外周部の緑化を誘導すると共に、生産環境の充実と産業機能の高度化に努めます。住工混在地域は、その解消を進めつつも地区計画などを活用し、工業系土地利用に配慮した住環境の改善に努めます。

## 農地

- ・農地は、食糧供給や多面的な機能を有するためこれを維持及び保全し、さらに有効利用するため農業振興策を進めると共に、生産基盤の向上に努めます。また、市民との協働による利活用についても検討します。

## 公共公益施設

- ・東部福祉会館や地区公民館などの公共公益施設は、地域の様々な活動を支える拠点として、誰もがつかいやすいように施設の柔軟な運営と管理に努めます。
- ・環境事業センターは周辺環境に配慮しつつ施設整備を進めると共に、余熱をいかした周辺整備を進めます。
- ・相模小学校は、神田小学校と隣接しているため、通学区域の見直しを行い、ツインシティへの再配置とその跡地利用も含め適切な土地利用に努めます。

### (4) - 3 景観やみどりと水辺

#### 代表的な景観

- ・相模川沿いにふさわしいみどり豊かなうるおいのある工業地景観を形成すると共に、河川堤防沿いの並木づくりを進めます。また、渋田川などの河川は、地域にふさわしい花々や樹木に彩られた河川景観を形成します。
- ・国道 129 号沿いの郊外型店舗は、周辺住宅地や農地と調和するようデザインの誘導を進めます。

#### みどりと水辺空間、ネットワーク

- ・田園は、農業生産の場であると共に、様々な生き物のすみかにもなっています。身近なみどりや季節感あふれる風景であり、その多面的効用を果たすよう保全に努めます。
- ・渋田川の桜並木は、みどりと水辺のふれあいスポットの形成に努めます。
- ・笠張川から渋田川に至る川辺や相模川の河川敷においては親水空間をいかし、みどりと水辺のネットワークづくりに努めます。

#### 公園や広場

- ・身近な公園や広場は、地域ニーズに応じ、また地域住民の参加により、誰もがつかいやすく親しみのある空間づくりを進めます。

### (5) 地域の資源をいかした魅力づくりの方針

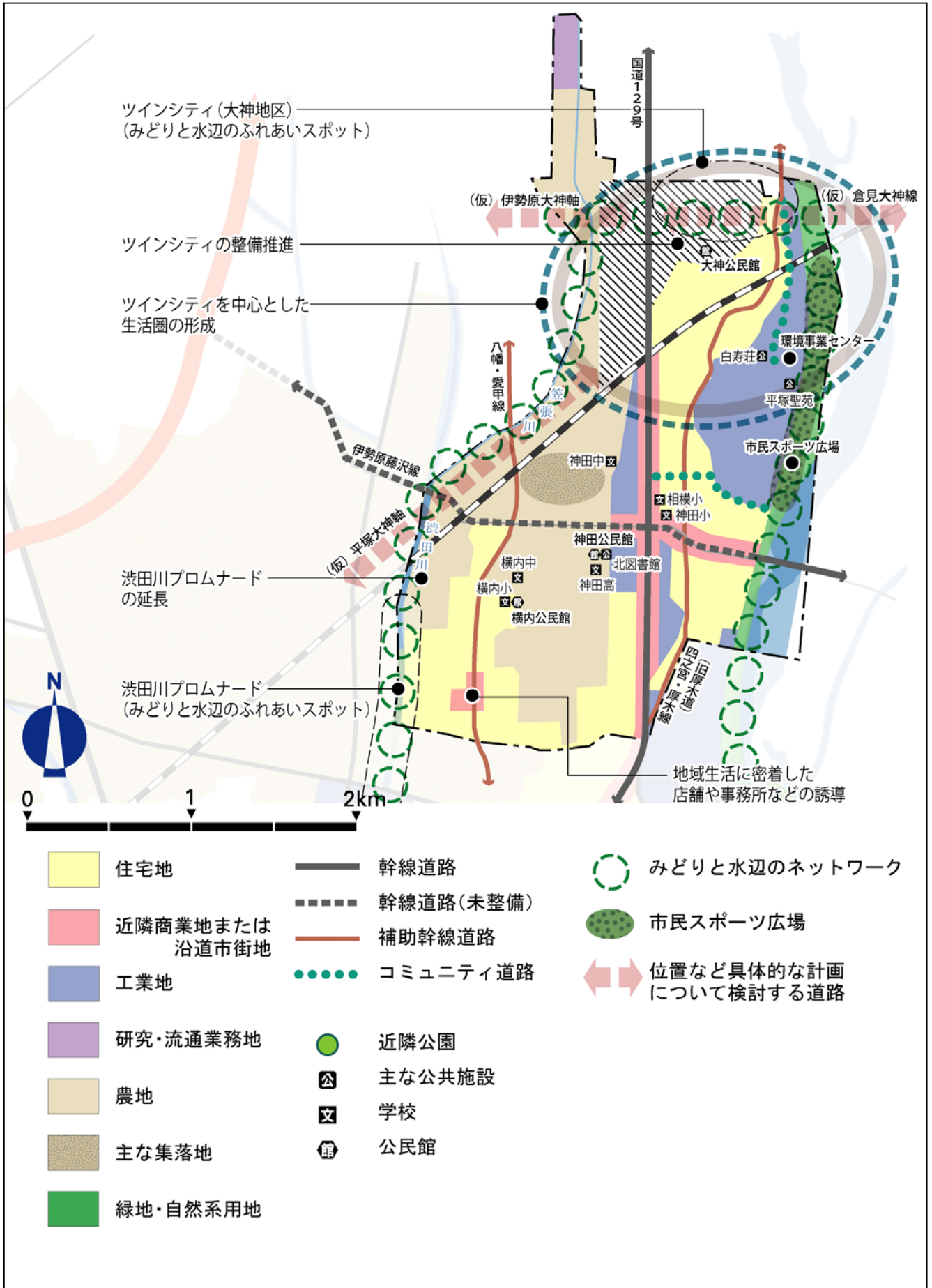
#### 渋田川プロムナードの延長

- ・渋田川の沿川自治会が進めている渋田川のプロムナード（散策路）化は、川沿いで植栽と管理そして地域住民の憩いの場となり地域の魅力となっています。こうした活動を支援し、現在のプロムナードをさらに延長できるよう検討します。

#### ツインシティを中心とした生活圏の形成

- ・ツインシティのにぎわいを周辺に波及するため、寒川町倉見地区も含め周辺と一体となったまちづくりを進めます。また、路線バスの再編や自転車ネットワーク形成、公共公益施設の再配置などにより、既存の生活圏を含め、ツインシティを中心としたにぎわいのある新たな生活圏を形成します。また、相模川の親水空間をいかしたみどりと水辺のふれあいスポットの創出に努めます。

# 北部地域のまちづくり方針図



## 地域の魅力づくりに向けて ～地域主体の取組みイメージ～

地域のまちづくりの目標と将来像の実現に向けたこれからのまちづくりは、「様々な主体が各々の役割を果たす協働の取組み」であり「地域自らが行う」ことが重要です。ここでは、地域の資源をいかした取組みを進めるため、地域主体の取組みイメージの例を示します。

### 例1：みんなが集える場づくり

主に公民館や学校などが集積しているところを対象に、公園や広場などを確保し、みんなが集える場づくりが望めます。

公園や広場の位置や地域ニーズに応じた利用方法を地域と市と協働で検討し、プランを作成します。整備後の維持や管理は地域で行い、定期的に市から花の苗や苗木を提供してもらい植え替えを行っていくことなどが考えられます。

そして自分たちの公園とすることを通じて、地域への愛着を高め、住み続けたいまちをさらに検討していくことが望めます。



神田公民館



大神から大山をのぞむ

### 例2：富士山や大山の眺望の確保

みんなで眺望できる場所を確保し、富士山や大山をテーマに楽しいイベントができる企画と活動が望めます。

地域の土地所有者の協力を得て、一定のところで地域が主体となって、写真や絵画コンクールなどのイベントを開催することが考えられます。

一方で、眺望景観を阻害しやすい規模の大きい屋外広告物や資材の野積み、大規模建築物・工作物については、景観への配慮について事業所の協力が必要です。

### 例3：新たな交流

ツインシティのにぎわいや活力を、周辺まちづくりに波及し、新たな生活圏を形成していくためには、ツインシティに住むこととなる住民や事業所と、周辺地域の住民との新たな交流が望めます。

このため、自治会同士の連携や小中学校・地元の公民館を通じての交流の場づくりや、事業所の地域の社会活動への貢献などが考えられます。



公民館まつり